

## V. 特記事項

### 本学学生の演習（ゼミ）における活動

#### 1. 地域のリスクを理解し、その解決に貢献する『リスクマネジメント実習』活動

これは、大学で学んだ知識を地域社会に還元するという意義を持った活動である。この活動では、学生たちが法学部「リスクマネジメントコース」で学ぶ「救命講習」「地域課題」「安全・安心」などの知識をもとに、実際に地域に出かけ、課題解決力と協調性を発揮し、地域の課題解決に貢献することを目標としている。この実習活動を通して、学生たちは社会人に必要な力（課題発見・解決力、コミュニケーション力、自己管理能力）を身につけ、地域社会が抱えている課題について考え、その解決に向けてのさまざまなアイデアを共有し、実践することができる。またこの活動は、学生たちにとって地域住民との交流を通じ将来の自分がどのように生きていくべきか、そのために何が必要かなどについて考える機会を与えている。具体的な活動としては、黒崎商店街でのイベント開催などを企画する「黒崎商店街活性化活動」、小学生や保護者を対象に救命講習・防災クイズ・防犯講習などを行う「安全安心教育活動」などである。

#### 2. 八幡東区におけるシビックプライドを育む活動

本学の立地する八幡東区は長期に渡って人口減少、高齢化傾向にあるが、交通の利便性や生活環境の良さから近年では転入超過に転じている。しかし、その一方で新住民の地域意識の醸成、さらには新旧住民間、世代間、地区間の断絶の解消などが新たな地域課題となっている。現代ビジネス学部地域経済学科「地域づくりコース」では、主たる活動場所を中央区商店街と八幡駅前国際通り地区として、多様な地域アクターと連携し、にぎわいづくりや住民交流機会の創出に継続的に取り組んでいる。

特に八幡大空襲の経験、「製鐵のまち」として栄えた時代の記憶の住民への敷衍、次世代への継承については、継続的な取り組みとして行っている。その他の具体的な活動としては、平成30(2018)年から本学学園祭における地域連携の促進、令和元(2019)年から『やばたアートフォレストパレットの樹』への企画参加などがある。

#### 3. 持続可能な開発目標に寄与する、留学生と行くSDGs旅行『BENTO JOURNEY』

現代ビジネス学部地域経済学科「観光ビジネスコース」では、国連が持続可能な開発目標として定めたSDGsについて学び、観光を通じてSDGsをジブンゴトとして捉えるための旅行企画『BENTO JOURNEY』を立案した。これは、留学生とその日本の友人が北九州に滞在し、且過市場で購入した食材を余すことなく使って弁当を作るほか、プロの写真家から映える写真の撮り方を習いSNSに投稿し獲得した「いいね!」の数だけをSDGs関連企業に寄附するものであり、子ども食堂で子どもたちと一緒に弁当を作ることで、アジア圏の留学生にも自国とは異なる日本の貧困の実態について理解を深めてもらうのが狙いである。

本企画は、「第3回東京女子大学ビジネスプランコンテスト」で奨励賞を受賞したほか、早稲田佐賀中学校で生徒たちとともにSDGsのアクションプランについて議論するなど精力的な活動を続けている。